

最新ピックアップ合格体験記



匿名希望 eラーニングコース 2017年2月 AK州出願

■USCPAを目指したきっかけ

わたしは日本で公認会計士として働いていましたが、海外赴任にて現地で経理業務を行うことをきっかけに、自分の力を試す一環としてUSCPAを目指すこととしました。

以前監査法人にも勤めていましたが、ダブルライセンス（日米会計士）の人は、まだまだ少ないと思ったため、USCPA取得は今後転職市場においても自分の付加価値になると思ったためです。

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：1年9ヶ月間

一週間当たりの平均学習時間：平日1-2時間/休日0.5時間

【学習方法】

基本的には通勤中の学習がメインとなりました。通勤中もスマートフォンで授業を聞いていました。

過去問題はChapterごとに取り組み、移動中も勉強できるようにしていました。過去問題に取り組む際は、気になる部分のみ佐々木先生の解説（過去問データベース）で確認しました。それでも理解できない部分は、そんなもんなんだと割り切りました。

FAR

日本の公認会計士であるため、特に問題ありませんでした。最初に合格しました。英文会計入門は受講しませんでした。

公会計については日本の公認会計士でもやっていない人もいますが、わたしは多少実務経験があり日本の公共企業（独立行政法人や、一般社団法人）などの仕訳の切り方に似ているように思いました。こちらについては経験がない人も多いと思いますが、難しい論点ではないので、必ず押さえていた方が良いと思います。むしろ基礎的な内容が出るので得点源になるかと思えます。

IFRSについても基礎的なもののみであり、難しくはなかったように思えます。過去問題集を2-3回転ほどしました。FARについては過去問データベースのSimulationを1回転ほどしました。200時間ほど勉強しました。

AUD

最も簡単な科目でした。合格2科目目でした。

監査法人での勤務経験があったので、当時の仕事内容がそのまま試験になったような感じでした。

ただしIT監査部分とサンプリング部分の論点は、内容はともかく、難しい英単語が多かったので苦労しました。何となく理解していても英語が読み解けないため、間違っ問題が多かったように思えます。過去問題集を2-3回転ほどしました。過去問データベースのSimulationは1回転ほどしました。130時間ほど勉強しました。

BEC

一番苦労しました。4回受験しました。最後に合格した科目です。

1回目

他の科目同様、最初の試験では2-3回転ほど過去問題演習を行い、試験に臨みました。69点でした。

他の合格者が仰るように精度を上げる必要があると思いました。

2回目

精度を上げるべく過去問題集を累計3-5回転ほどで臨みました。とはいえ前回試験からわずか1か月で+30時間ほどの勉強で臨みました。71点でした。

3回目

BISKの過去問題集だけの勉強に限界を感じ始めて、Wileyの過去問題集を購入し、一部分（弱い論点）のみ対策しました。全論点をカバーする時間がなかったためです。結果は74点でした。→その後、気分転換に先にREGの受験を行い、合格しました。

【事務局より】現在はBISK、Wileyどちらの過去問題も受講生サポートサイトの学習コンテンツよりお取組み頂けます。

4回目

BISKは累計で7-8回転ほど、Wileyも2-5回転ほどで臨みました。さらにAICPAのRecently Released Question*は過去5年分やりました。結果76点でした。累計で340時間ほど勉強しました。*学習コンテンツの過去問データベースに含まれています。

REG

3番目に合格した科目です。税務については、日本での税務の考え方がそのまま応用できるため、FARやAUDほど経験が直結していませんが、難しくは感じませんでした。数値を暗記しておくべき問題も多いため、この辺りは苦労しましたが、直前の詰め込みで何とかできました。

商法については、日本の会社法と似ている点も多いです。そのためこちらも日本での勉強の経験が生きてきました。商法については時間がなかったため、過去問題はやらずプロアクティブのテキストの章末問題だけを繰り返しました。

税務については過去問題を2-3回転ほどしました。

シミュレーション対策する時間はありませんでしたが、本番では困りませんでした。170時間ほど勉強しました。

■ 講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

講義はスマートフォンでも聞けるところが良かったと思います。またインプットは英語テキストで最小限に抑えられているため、アウトプットに注力が出来る点良いと思います。おそらくですが、他校の授業ボリュームは多すぎです。佐々木先生の授業で一番面白かったのは、日本の監査法人の人は「一にリスク、二にリスク、リスクリスクリスク！」とか「突合とかいう江戸時代の言葉を使う」、「FIFOをフィフォって読む」といった話です。監査法人での勤務経験があったため、AUDの授業は、かなり笑えました。

■ 合格後に仕事でどのように活用できましたか？または、キャリアUPにどのように役立ちましたか？

海外赴任当初は読めなかった会計英語も多かったですが、業務とUSCPAの勉強を並行することにより、読める部分が多くなり、そのスピードも向上したと思います。同僚と話す英単語の種類も増えたと思います。現在転職は考えていませんが、将来的には、日米公認会計士+海外駐在経験などを生かしてCFOへの道なども切り開けるのではないかと考えています。東芝の米国子会社のChapter11による破産申請などをニュースで目にする、「あ〜REGで習った、あれね」とか理解できるのが楽しいです。東芝の2016/12期のPWCの意見不表明についてもAUDで習ったとおりです。

■ これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

会計や英語に関するバックグラウンドは人それぞれだと思います。短時間で合格できた人も多数いますが、それ以上に多くの方は何度も失敗していますし、時間もかかっていると思います。あまり他人の勉強法や合格体験記にとらわれ過ぎず、ひたすら目の前の授業や問題に集中することをお勧めします。そうすれば勉強時間も伸びて、自然に合格に近づくと考えます。やることをやってないうちに、他人のやり方に手を出すべきではない（勉強法の勉強ばかりすること）と思います。

また金銭面の話でいうと、他校で高い授業料を払うより、プロアクティブを受講し、浮いた分で複数回受験した方が良いというのが持論です。他校のボリュームが多い授業を完璧にして一発合格を目指すのもいいですが、不完全な状態でも良いので一度受験する余裕があれば、受験すべきだと思います。絶対にラッキー合格もありますし、試験慣れしておいて損はないです（受験要件を満たした後は、受験しないQuarterを作らない、必ず3か月ごとに受験する）。もちろん常に一発合格を目指すべきですが。。

また、将来アメリカ永住を考えている人以外は、受験要件が易しいところでさっさと願書を提出することをお勧めします。

もし、お読みの方で日本の公認会計士の方がいれば、伝えたいのですが、日本の公認会計士試験に比べて簡単という噂だけが先行していますが、やはり難しい試験だと思います。内容はもちろん簡単かもしれませんが、英語試験であること、特に働きながら受験するという意味で、日本の公認会計士試験の受験生時代と環境も違うと思います。またExpireのプレッシャーも凶りしれません。特に監査法人で激務されている皆さんが合格時間に達する勉強時間を確保するのは相当程度身を削る必要があると思います。やはり舐めてかからない方が良いと思います。

最新ピックアップ合格体験記



M・Tさん eラーニングコース 2016年12月合格 AK州出願

■USCPAを目指したきっかけ

これまで日本の会計士として監査法人で長く働いてきましたが、自分自身のアップデートが必要と感じていた時に、外資系企業に転職することになり、今後も外資系企業でステップアップしたり、自分の夢である海外勤務をかなえたりするためにはUSCPAの取得が有効と思ったことがきっかけとなりました。

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：1年4か月間

一週間当たりの平均学習時間：平日2-3時間/休日3-5時間

【学習方法】

どの科目もプロアクティブe-learningコースのテキストと動画講義、そして受講生サイトの過去問データベースに掲載された問題しか勉強しませんでした。他のものにまで手を広げる余裕はありませんでした。

FAR

最初の科目。他の科目を攻略する基礎となるので最初に受けた方がいいと思います。公会計については全くなじみがなくかつ本番の試験でも比較的問題が多く出たのでしっかり理解する必要があると思います。

AUD

日本基準での監査経験があったので、自分にとっては比較的取り組みやすい科目でしたが、日米の違いについてはしっかり押さえる必要があります。Audit reportの文言はある程度暗記が必要だと思います。

BEC

どんな問題が出てくるか分からないという恐怖感を感じた科目。とにかくテキストと過去問データベースを信じてやり抜くしかないと思います。いろいろ手を広げると收拾がつかなくなるのではないかと思います。エッセイについては受講生サイトに掲載されているQA集をみて、文章の展開の仕方とかキーワードになりそうな語句だけを押さえるようにしました。本番で同じ問題が出ることはなくてもそういった学習ならばあまり無駄にはならないような気がします。

REG

BEC以上に達成感のないまま受験した最後の科目。知らなかったら終わり、という色合いが一番強い科目で、どこまでやっても終わりのない科目でした。論点も広範囲にわたり一番手ごわい科目で、これぞUSCPA試験、といった感じでした。この科目だけは論点整理のために何か参考書を使いたいと感じました（自分にはそこまでやる時間的余裕がなかったのでもせんでした）。

■合格後に仕事でどのように活用できましたか？または、キャリアUPにどのように役立ちましたか？

現在外資系企業でファイナンス（経理）の仕事をしていますが、4科目受験してみて、業務上当然知っておく必要があると思われることを結構カバーしているという印象があります。あと、BECの試験勉強をしている最中に転職したのですが、転職前後で環境が大きく変わった中、働きながら合格できたことを外人の上司が喜んでくれたのはうれしかったです。

■これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

よく言われることですが、この試験はあきらめなければ必ず合格に近づいていくことができると思います。毎日細切れの空き時間も大切に地道な努力の積み重ねが必ず結果に結びつくと思っていて頑張ってください。

また、本番中も最後まであきらめない姿勢が大切と感じました。REGは76点とぎりぎり合格しましたが、SIMの6問のうち1問は条文リサーチ問題でよく分からなかったのが解けないまま放っておきました。SIM6問のうち1問は採点されないということなので、まあいいかと思っていたのですが、最後の30秒でたまたま条文を見つけられたので急いで入力しました。終わってみれば、あのリサーチ問題があったおかげで合格できたのかもしれない。何らかの参考になれば幸いです。

科目ごとに期間を開けて受験する場合、AICPAが公開しているのサンプルテストは本番の感触をつかむためにはやった方がいいと思います。

最新ピックアップ合格体験記

Y・Hさん 通学コース 2016年9月合格 NY出願



■USCPAを目指したきっかけ

これまで仕事で海外企業のM&Aや経営管理を行ってきました。そうした自分の知識や経験を目に見える形に分かりやすく示したい、と考えたのがきっかけです。

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：2年

一週間当たりの平均学習時間：平日1.5時間/休日4-8時間

【学習方法】

時期によってばらつきがありますが、平日は平均1.5時間、休日は通常4時間、試験前の追い込み時期は8時間以上を勉強していました。

私の場合、USCPAの学習期間と仕事の繁忙期が重なっていたため（昨年1年間にブラジルに10回以上行きました）、先ず仕事に影響を与えないように、無理のないペースで学習を続けることを最優先にしました。その分、お盆やお正月などの休み期間を利用して、試験前に集中的に勉強をしました。その間、休みにも拘らず、どこにも連れていけない中で、勉強に集中させてくれた家族には感謝しています。

FAR

（初めての試験だったこともあり）MCの計算に慎重になりすぎて、時間を使い過ぎてしまった。Simulationの形式にも慣れておくのが良い。また、政府、NPO等のマイナートピックもかなり出るので本番で焦らないように準備しておく。

AUD

個人的には一番難しい科目だと思う。特に正解・不正解の判断が難しい（理解が深まればできるがかなり直前まで出来ない）ため、問題中の「誤っている箇所」を特定し、消去法で絞っていくやり方が有効だと思う。

BEC

こちらもWebの過去問などでやったような一般的な問題はあまり出ない。そのため、（逆説的だが）講義で習った主要なトピックをしっかりと理解した上で、本番では自分で考えて答えられるようにしておく必要がある。また、AUDと同様に消去法が有効だと思う。

REG

こちらもRoth IRA、外国税額控除等のマイナートピックもかなり出たため、本番で焦らないように準備しておく（私の場合、Testlet 2に超難問ばかり出て危うく心が折れかけました）。逆に講義で習った主要なトピックをしっかり押さえて、取りこぼさないようにすることが肝心。

■講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

プロアクティブの講義は、試験に出る範囲を効率的にカバーしてくれているため、本当に勉強しやすかったです。

特に佐々木先生の印象に残る講義は、大事な個所を覚えるのにとっても役立ちました（笑）。

仕事が忙しく学習時間が十分に取れないことも多かったのですが、私は本当にプロアクティブで無ければ、合格出来なかったと思います。感謝しております。

■合格後に仕事でどのように活用できましたか？または、キャリアUPにどのように役立ちましたか？

最初に書いた通り、私がUSCPAを目指したきっかけは、これまで仕事で得た知識や経験を目に見える形に示すためでした。

今回、USCPAを取得したことで、海外の会社で働くメンバーにも自分がどのような分野で知識・経験を持っているかをハッキリと示すことができるようになりました。また、今後は海外で働く機会も増えてきますが、その時にも初めての相手に対してもハッキリと自分の強みを示すことができます。

そして何よりも、これまでの知識・経験を体系的に整理できたことで、今の仕事（海外の会社の経営管理）でもより深い視点から経営・管理を行うことができるようになりました。本当に勉強して良かったと思います。

■これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

学習期間中は大変だと思いますが、ここで学んだことを活かせる機会はますます増えてきていると思います。

今学んでいることは生きてきますので、ぜひ楽しみながら学習に取り組んでください。

（あと、疲れた時には時々ぜひひりフレッシュしてください！）

最新ピックアップ合格体験記

F・Mさん 通学コース 2016年9月 NY出願



■USCPAを目指したきっかけ

司法試験合格後、法務系の仕事についていましたが、ビジネスマンとして英語、会計、監査等は必須の知識だと思っていたところ、先生の無料セミナーに参加し、会計や経済の深い知識に裏付けられた熱い講義に惹かれたのがきっかけです。これに参加していなかったら、今の自分はなかったと思います。他校と違って、忙しくても授業をこなせるカリキュラムであったので「これなら続けられる！」と思いました。

(ただ、当初は受かるか不安だが、BATICにつながったり、教養を深められれば御の字という程度の気持ちでした。)

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：2年間

一週間当たりの平均学習時間：平日1.5時間/休日8時間

【学習方法】

授業に出て、概要や背景にある考え方を掴み、過去問データベースをひと月で3周ほど解きました。忘れることは覚悟で何度も繰り返す(ペンキ塗りのように)ことを心がけました。動画解説はどこにいてもスキマ時間で解けるので本当にありがたかったです。これがなければ受かりませんでした。動画解説は解説にかかる時間によって重要さが分かれているように感じられ、メリハリ付けに役立ちました。

FAR

簿記2級やBATICのSubject1を合格していたこともあり、先生の講義も理解しやすく、全体像も比較的容易につかめました。(私にとっては)難解な論点まで先生が講義でカバーし、分かり易く説明して下さったため、本当にありがたかったです。こんな自分がCPAの科目に受かるのかと不安な状態で臨んだところ、1回で合格しました。しかし、これが後の油断につながったようにも思われ、悔やまれるところです。

AUD

2科目目として受けましたが、油断していて詰めが甘かった科目です。一番受験回数が多く、4回受けました(74点→72点→72点→90点)。毎回、SIMが手ごたえ無く、特になぜかFAR系の問題に苦手意識がありました。2回目の不合格後、佐々木先生から「TOEFLを20回受けたUSCPA合格者もいる。ケチってないで、チキっていないで何度でも受ける！」と言われて喝が入りました。4回目受験の前は、一生受からないのではないかと恐怖から、FARの仕訳の復習やPCAOBの細かい本まで読んでしまいました。最後は90点も(要らないのに)取れ、ケチケチせず毎回受けてよかったと思いました。

BEC

4科目目でした。上記の通り苦労しました(72点→74点→77点)。特に2回目はこれでもかというくらいMCをやっていたのに、WCがデタラメな内容だったせいでふるい落とされたように感じました。そのため、AUDよりも出口の見えない不安に襲われました。MCができれば普通はWCができるのですが、私はあまりにもできなかったように感じたためWC恐怖症になり、最後の受験前は過去問題等を一通りノートに10行前後で書きなぐって、「型」を体で覚えました。3回目の本番では動画解説の各問題の解法を殆ど暗記しているというレベルでしたので各MCを40分、WCを1時間ですっきりと解きました。(もちろん、WCの対策は知識がないとどうしようもないので、MCをしっかりやっていることが前提になりますし、私自身実はMCの詰めが甘かったのかも知れません。)

REG

3科目目として受けました。税法は会計との違いを意識して暗記すれば、早く合格水準に達せると思いました。属人的な事情かも知れませんが、法律は得意分野で、司法試験で習った日本法と同じところも多く、違いについて意識しておけば容易に解きました。1.5カ月ほどの勉強であっさり通りました。

■講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

堅苦しい話が、すごく柔らかくかみ砕いて身近な例に落として説明いただいたので、私のような法学部卒の門外漢にもよく理解できました。学習中の論点を時事問題に当てはめて説明して下さることも多く、論点と実際の企業名が結びついて頭に叩き込まれました。こうなると忘れる方が難しいくらいになっていました。歩いているときやお風呂では講義の動画をスマホで再生していました。そば屋の例はいつも面白く、監査を少し好きになれました。

■合格後に仕事でどのように活用できましたか？または、キャリアUPにどのように役立ちましたか？

色々な業務への活かし方があるので、私の創意にもかかっていますが、まずは英文契約や財務分析に活かしたいと思います。将来的にはデューデリ等海外案件で行う際の、海外とのコミュニケーションに大きく役立てられると考えています。

■これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

- ・かなりお金も使いますが、この試験の勉強をするだけでも得られるものは大きいです。受験当時は円安時で、出費が大きかったです、得られるものも大きかったです。
- ・理解が大事なのか暗記が大事なのかという議論がありますが(ものによりますが)先生も明確に「ここ暗記」とおっしゃるように暗記が目的で、理解は手段だと思います。アウトプット中心の勉強は合理的だと思います。

最新ピックアップ合格体験記

H・Sさん 通信コース 2016年8月合格 AK州出願



■USCPAを目指したきっかけ

以前勤めていた職場にUSCPAの方がいて、会計を専門分野として活躍されていた&高い給与に惹かれて目指そうと思いました。

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：実質2年間

一週間当たりの平均学習時間：平日1-2時間/休日8-12時間

【学習方法】

過去問題演習中心です。INPUTよりも、OUTPUTを重視していました。講義を聴きながらテキストにメモ→過去問データベースを解く(1回目)→過去問データベースを解く(2回目)→過去問データベースを解く(3回目)が基本スタイルです。ひたすら過去問、とにかく過去問。時間がとれなくて、過去問2周しか出来ないときは例外なく落ちましたので、3周することが重要?なのかもしれません。

通勤電車の中では、AICPAのリリース問題を中心に解いていました。「Recently Released Question」*のコンテンツが用意されていたので、スマホを使って解いていました。他のコンテンツとは違って、数十問で科目全体を触れるので、復習にはもってこいでしたね。*受講生サポートサイトの学習コンテンツよりお取組み頂けます。

全体的には、試験日直前期に学習ボリュームが集中してしまい、詰め込み感が否めなかったですが、なんとか合格できたのは要点がコンパクトにまとまったテキストのおかげだと思っています。

FAR

必要な知識量が多いのが大変ですが、原則(典型的な問題)を覚えてしまえば、意外と簡単と思えるようになりました。AUDやBECでも関連分野が出たりしたので、全ての科目も幹となる重要な科目かと。最初に受けてよかった。

AUD

ちゃんと理解しているかどうかが問われます。知識の量よりも、質。FARやBECは問題を多少読めなくても、転がっている数字から答えが出ちゃったりするのですが、AUDではニュアンスに近い内容を判断しないといけないので、深い理解が問われています。とはいえ、過去問で問われるような傾向がほとんどなので、やっぱり過去問ですね。

BEC

MCで頑張るしかない。WCは、白紙は避けて、書けるだけ書く。

REG

よく言われる内容ですが、「薄く、広く」ですね。

知識範囲は広いので、ちょっとビックリしますが、過去問以上の知識は出てこないもので、過去問解いていけば安心です。

■講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

改善というよりは、個人的な希望ですが、テキストのフォントを少し小さくして、紙の枚数を減らしても良いかもしれません。テキストにメモをガンガン書いている身としては、少しでも持ち運ぶ量を少なく(厚さを薄く)したいので。まあ好みの世界だとは思いますが。

■合格後に仕事でどのように活用できましたか?または、キャリアUPにどのように役立ちましたか?

これから活用します。給料上がるなら転職したいです。

■これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします!

私は、仕事の特性上平日の勉強時間が本当に取れませんでした。そんな状況の中で、プロアクティブを選んだ(選べた)ことは本当に幸運だったと思っています。要点がコンパクトに纏まっているので、合格に必要なポイントが絞れて本当に助かりました(某予備校の資料を見る機会があったのですが、とてもじゃないですが読み切れる量ではなかったです)。

最新ピックアップ合格体験記

K・Sさん 通学コース 2016年7月合格 NY州出願



■USCPAを目指したきっかけ

アメリカで働きたいという夢があり、それを実現する可能性を広げるためにトライしました。勉強を始めた時点で、自分の経歴が実務経験を満たすか分かりませんでした。とにかくスタートしました。当時の英語力については、TOEICスコアで650点でした。また、会計知識はほとんどなかったため、英文会計入門から学習を開始しました。

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：1年9か月間

一週間当たりの平均学習時間：平日2-3時間/休日5-6時間

【学習方法】

いずれの科目についても、とにかくMCの正解率の向上に注力しました。仕事終わりは喫茶店、休日は図書館で過去問題を中心に解きまわりました。

FAR

会計知識のないところからのスタートだったので、インプットにはかなりの時間を割かざるを得ませんでした。ただ、講義を何度も聞き、また過去問題を7周解いた結果、問題なく1回で合格することができました。AUDのSIM問題に、FARで学習していれば簡単に解けるような問題もありましたので、特にきっちり理解をしておいた方が良い科目だと思いました。

AUD

最初に問題を解いた時は、問題文も選択肢も解説文も、英語がほとんど理解できずにパニックに陥りました。とにかく英語に慣れなくてはいけないと思い、かなり早い段階から問題を解きまくるようにしました。MCの得点率は上がったのですが、SIMで得点を稼ぐことができず、1回目、2回目とも74点（MC：Stronger、SIM：Weaker）でFailしました。ただ3回目はそれほど知識レベルの変化はないものの、90点で合格しましたので、個人的にはSIMとの相性の良さ悪しだけが合否の要因であったような気がします。

BEC

個人的には、英語力のない人にとっては一番苦労する科目ではないかと思います。出題範囲が広いので、MCだけで75点以上を取るのはかなりハードに感じました。1回目、2回目ともに74点（MC：Stronger、WC：Weaker）で、3回目は68点（MC：Stronger、WC：Weaker）でFailしました。3回目については、MCに多くの時間を割き、WCについてはほぼ白紙解答だったので、4回目には、少しWC対策に時間を割き、文章のひな形をしっかりと整え、またキーワードを多く入れるように注意しました。その結果、なんとか78点で合格することができました。WCについてですが、正確な難しい文章を書く練習などする必要はないと思いますが、最低限のルールは知っておいた方が加点につながるかと思います。

REG

かなり出題範囲が広く、また法律については未経験分野であったため、なかなか理解が進まず苦労しました。過去問題演習もなかなか進まず、結局3周しかこなせませんでした。なんとか1回で合格することができました。

■講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

何と言っても退屈しないメリハリのある講義が良かったです。重要なポイントに絞り、それを印象的に説明していただけなので、とても頭に残りやすいと感じました。また、英語の教材であったことも良かったです。日本語と英語の両方で覚えるのはかなり効率が良いと思うので、英語だけで十分だと思います。

■合格後に仕事でどのように活用できましたか？または、キャリアUPにどのように役立ちましたか？

4回目のBECを受験後に、就職活動を開始しました。その結果、幸運にも在アメリカの日系企業よりオファーをいただくことができました。USCPAに関する知識を使用した仕事内容ではないのですが、40歳を過ぎてアメリカで働くためにUSCPA試験の勉強をして（ほぼ）合格している、ということがかなりのアピールになりました。来年の4月より佐々木先生ゆかりの地、ニューヨークで働く予定です。今後については、アメリカで働くということもあり、実務経験にもよりますが、ライセンスの取得を目指したいと思います。ちなみに試験勉強を通じて、ビジネス英語力（会話は除いて）は間違いなく向上すると思います。学習開始前に650点だったTOEICのスコアが、試験終了後には750点になっていました。その後、2ヶ月ほどTOEICの勉強をただで845点まで上がりました。特にビジネス英語に関する語彙力、及び文章を読む力については勝手に向上すると思います。

■これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

私の場合は、USCPAの試験にトライしたことから、夢を実現することができました。USCPAの試験に合格することが、イコール次のステップへのパスポートにはならないと思いますが、間違いなく道を切り開くためのツールにはなると思います。私のように、5回もFail（うち4回が74点）という苦しい思いをしても、あきらめずがんばり続けなければ必ず合格できる試験だと思います。なので、がんばり続けられるように、“なぜ合格したいのか”しっかりとした動機を持っておくことが重要だと思います。

最新ピックアップ合格体験記



T・Sさん 通信コース 2016年7月合格 IL出願

■USCPAを目指したきっかけ

もともと海外の会計大学院を卒業し、その後アメリカの監査法人で勤務した経験があったので、それらの経験を無駄にしないためにも資格取得を目指しました。

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：10か月間

一週間当たりの平均学習時間：平日5時間/休日10時間

【学習方法】

父親の経営する会社で勤務しながらの勉強でしたので、比較的勉強時間に融通がきき、平日でも5時間の勉強時間を確保することができました。

FAR

範囲は広いですが、一番勉強しやすい科目だと思います。過去問題を繰り返し回すだけで合格することができました。

AUD

佐々木先生の授業を繰り返し視聴し、体系的に頭に入れるようにしました。過去問題演習のみで大丈夫だと思います。

BEC

一番苦労しました。毎回できたと思っていても、73, 74で落ちてしまいました。WCはそこそこで、最後までMCの精度を上げることに努めました。

REG

佐々木先生の授業を何度も視聴し、体系的に頭に入れるように勉強しました。思ったより受かるのは簡単だと思います。

■講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

良かった点は、何といっても佐々木先生の楽しい授業だと思います。本当にわかりやすいですし、楽しく授業を受けることができました。

■合格後に仕事でどのように活用できましたか？または、キャリアUPにどのように役立ちましたか？

現職が父親の会社なので、資格を仕事で活用することはできていないのですが、これから転職活動をしていきたいと思っています。

■これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

試験勉強中は不安になることも多々ありますが、佐々木先生を信じれば、必ず合格を掴み取ることができます。頑張ってください！！

最新ピックアップ合格体験記

T・Sさん 通信コース 2016年6月合格 AK州出願



■USCPAを目指したきっかけ

当時、外資系企業の決算業務に携わっていたこともあり、US-GAAPについて勉強したいと考えていたため。そのようなとき、佐々木先生のセミナーにたまたま参加し、佐々木先生となら頑張れるかもと思い、受験を決意しました。

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：2年間

一週間当たりの平均学習時間：平日2時間/休日2時間

【学習方法】

佐々木先生の講義を聞いた後はアウトプットあるのみです。問題を解いている中で、わからない、あるいは変な問題があったとしても気にせず次の問題に進んで下さい。「気になって次に進めない」という人は、短期合格は難しいと思います。

FAR

オーソドックスな問題が多いので、問題をたくさん解けばokです。本番ではIFRSの問題がたくさん出題されますが、気にする必要は無いかもしれません。私自身ほとんど解けませんでしたし、他の合格者の話を聞いても出ていない人が多いようです。IFRSをUS-GAAPに取り込みたい偉い人が、「IFRSはこれから大事だよ！だから試験にはIFRSの問題をたくさん出題しているよ！」と建前上アピールしたいだけじゃないでしょうか。そのくせ、心の中ではIFRSよりもUS-GAAPの方が優れていると考えているので、採点の対象にはしていない、というのが真相ではないでしょうか。

AUD

ただ単にアウトプットしていくことだけでは不十分です。問題を解きながら佐々木先生のフレーズの意味を理解していくことが重要となります。例えば「プランニングの段階で徐々に内部統制を理解していく」というフレーズの意味も、問題を解きながら少しずつ理解できていきます。佐々木先生のキーフレーズの意味を理解しない限りAUDの合格は難しいかもしれません。

BEC

WCについては、結局まともに対策をしませんでした。対策はWCの雛形を決めたことくらいです。試験時間のほとんどをMCにあて、WCは残った時間（20分くらい）で適当に雛方にそってタイプしました。それでも3問中1問は白紙で、残る2問も5~6行書いただけです。結果76点ですので、3問とも白紙だったら落ちていたかもしれません。ということで、WCが白紙でも合格できるというのは事実だと思いますが、気休め程度にやっておけばいいのではないのでしょうか。

REG

最後に受けた科目です。EXPIREの関係上、1ヶ月しか勉強できませんでした。1ヶ月間は死ぬ気でやりましたが、それでも講義の視聴とRecently Released Question（学習コンテンツの過去問データベースに含まれています。）を5年分だけやるのが精一杯でした。他の3科目については、受講生のページの過去問データベースをほぼ100%解けるようになるまでやりましたが、REGについては一切やっておりません。SIMULATION対策も一切やっておりません。結果として、佐々木先生の講義と少しの問題演習だけで合格可能ということが示されてしまいました。

※あまり参考にしないで下さい。簡単に合格できたように書きましたが楽ではありませんでした。実際、授業内容をほぼ丸暗記するくらい講義を視聴しました。

■講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

【講義の良かった点】

佐々木先生の講義の目的がはっきりしていること。佐々木先生の講義の目的は、会計学を研究することでも、必要以上に深く理解することでもありません。目的は短期合格です。私自身、長年塾講師をしていた経験から、試験勉強に対して以下のような思いをもっています。

- ・試験に合格するには、アウトプット中心の勉強をするべき。
- ・なぜならば『理解した後、問題が解ける』のではなく『問題が解けるようになった後、理解できる』から。
- ・だから、かろうじて問題が解けるレベルまでさっさととり着いて、いち早くアウトプット中心の勉強に切り替えるべき。

そういう視点から見たときに、佐々木先生の授業はパーフェクトでした。

アウトプット中心でありながら面白いという、相反する2つのことをさらっとやられておりました。

（理解しなくては問題が解けない、あるいは理解した方が効率的と思われる場合には、きちんと解説しておりますのでご安心下さい。）

【改善した方がよいと思う点】

「SUPER SIMULATION」が見られるようになりましたので、テキストの中のSIMULATIONの問題をもう少し削れるかも知れません。

■これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

「会計を研究したい！」とか「すべての問題を完璧に解きたい！」という人は、残念ながらプロアクティブでは満足感は得られないかもしれません。他の学校に行った方が満足感は得られると思います。それでも「短期合格したい！」という思いもあるのであれば、プロアクティブをお勧めします。

※何か新しいことを学ぶ際は、パターンの暗記というものが本質的な勉強です。ですので、たとえ「じっくりゆっくり勉強したい！そしてゆくゆくは会計を研究したい！」という人であったとしてもプロアクティブをお勧めします。とはいっても、そのような人は『パターンの暗記というものが本質的な勉強』であることがわからないでしょうからプロアクティブを選ばないでしょう。

最新ピックアップ合格体験記

M・Eさん eラーニングコース 2016年6月 AK出願



■USCPAを目指したきっかけ

会計と英語のスペシャリストになりたかったからです。学生時代アメフト一本で過ごしていた私は将来のことをあまり考えず就職につきました。社会人になり自分の将来のことも考えていく内に、元々不器用であった私はオールラウンダーとしてよりもスペシャリストとして自分の力を試してみたいという想いが強くなっていきました。そんな中、元々好きであった英語と社会人になって学び始めた簿記がきっかけでUSCPAを目指し始めました。

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：1年10か月間

一週間当たりの平均学習時間：平日3時間/休日12時間

【学習方法】

前職は非常に飲み会が多かったため平日は朝に勉強時間を確保することを意識しました。休日は極力予定をいれず、最低12時間やることを意識しました。飲み会や予定がなければ平日5時間、休日15時間は学習していたと思います。

次に学習方法ですが、基本的には受講生ページの過去問演習をひたすら繰り返してやりました。具体的には最低延べ7000問はやったと思います。佐々木先生の過去問解説はコンパクトに纏まっており、ストレスなく問題を解き進められました。

FAR

唯一一発合格出来た科目でしたが、一番学習時間の掛かった科目です。FARだけは上記に挙げた学習方法ではなく、ひたすら教科書を読み込み、問題演習は教科書の過去問演習、Super直前対策、Super simulation(※eラーニングコンテンツに含まれております)のみで受講生ページの過去問演習には一切手を付けませんでした。今振り返ると正直何故受かったのかわからない科目です。FARは難しいという方が多い科目ですが、教科書にしぼり理解が深まったタイミングで受験できたのでいい結果が出たのだと感じています。あまりおススメの勉強法ではありません。

AUD

過去問演習主体の学習方法に切り替えました。AUDに関しては受講生ページの過去問演習が最も有効な科目であると感じました。なぜなら佐々木先生の解説講義が最も効いてくる科目だからです。他の科目の解説ももちろん良いのですが、AUDに関しては、USの監査法人に勤務されていた佐々木先生の経験に基づいた解説が多く含まれております。解説を聞いていく内に監査人の立場にたつて問題にあたるようになっていきました。ここで学んだProfessional Responsibilityはその後受験したREG、BECでも役立ちました。

BEC

出題比率の大きいCorporate Governanceについては、佐々木先生のAUD過去問演習の解説のおかげですんなりと理解できました。ITについてはかなり苦戦しましたが、問題演習の量でカバーしました。BECに関してはWillyと合わせて1800問近くの過去問を用意して頂いているのでこれを繰り返し解けば必ず合格レベルにいくと思います。Written Communicationについては定型文を覚え、部分点を取りにいきました。

REG

一番手こずった科目です。TAXについては特にIndividual Taxationについては相当問題演習を行いました。ある時期から受講生ページにWillyの問題もアップして頂いたためその問題演習もでき理解が深まりました。暗記中心ですが、同じ論点がチャプターに跨っていたりするので苦手なところを自分なりに纏めた方がいいと感じました(例えば、IndividualとC Corp.におけるCapital lossのcarryback/carryoverやLike-kind Exchange・C Corp・PartnershipにおけるTax Basisの計算方法の違い等)。

■講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

何より佐々木先生のテンポが良く、テンションの高い講義です。本当に一度も飽きることなく聞き進められました。これは過去問演習の解説講義でも同じでした。短期間で最低限の知識を得たい方にはすごくいい講義だと思います。テンポを意識されている分もちろん解説を省いている箇所もありますが、自分で理解を肉付けしていけば問題ないです。このスピード感は他校ではないものだと思います。

■合格後に仕事でどのように活用できましたか？または、キャリアUPにどのように役立ちましたか？

御校の傍島様のおかげで、科目合格時点で監査法人に転職することが出来ました。一般のエージェントにはない繋がりを持たれているので、監査法人に興味のある方は積極的にキャリア相談されることをお勧めします。

■これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

私の中でUSCPAという試験を一言で例えるなら、山登りです。試験範囲は膨大で息の長い受験に疲弊し途中で下山される人も多いですが、学習を続ければ必ず合格出来る試験だと感じました。USCPAはよくできた試験で奇問・難問はほとんどありません。また合格ラインに達したものは全員合格であり、倍率やその年の難易度等に左右されることもありません。まさに自分との闘いです。私自身、会計に関しては全くの未習でしたが合格までたどり着けました。プロアクティブ様のサポートがあれば必ず最後まで登りきれますので、諦めず一歩一歩前に進んでください。

最新ピックアップ合格体験記



S・Nさん eラーニングコース 2016年5月合格 NY出願

■USCPAを目指したきっかけ

経理部から経営企画部に異動となり、社内のMBA取得者や外部コンサルタントなどと一緒に仕事をしていく中で、自身の強みを打ち出していくために、経理の実務経験だけでなく、対外的にも通用する知見・スキルを身に付けたいと感じ、USCPA取得にチャレンジしました。

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：1年間

一週間当たりの平均学習時間：平日2時間/休日6時間

【学習方法】

平日は片道1時間の通勤時間と昼休みの数十分を利用して、スマホで講義視聴や過去問題演習を行いました。休日には講義視聴や過去問題演習に加え、講義内容を整理するノートを作成したり、理解が弱い点についてWebで調べたりしました。

1科目3か月のペースで1科目ずつ順番に学習しました。最初の1.5か月は『①講義視聴⇒②講義内容をノートに整理⇒③過去問題演習⇒④過去問を踏まえてノートに加筆・修正、ノートは備忘のために定期的に見返す』という流れで全ての講義を終了させ、残りの1.5か月はひたすら過去問題演習です。過去問は間違えた問題は控えておいて、繰り返し復習するなどして、全ての問題を解けるくらいのレベルまで演習しました。過去問はeラーニングで提供されたものだけ*しか取り組んでおりませんが、十分合格レベルに到達できました。*過去問データベースのことです。受講生サポートサイトの学習コンテンツよりお取り組み頂けます。

FAR

BATICでの学習経験があったため、GovernmentとNPO会計以外は特に苦労せず、スムーズに学習を進めることができました。各トピックについて、きちんと仕訳で理解することができれば大丈夫かと思います。

試験では、最初の受験科目だったこともあり、時間配分をあまり意識せず、Multiple Choiceに時間をかけ過ぎてしまい、Simulationの問題はギリギリできちんと見直しができませんでした。結果的には合格していましたが、以降は時間配分を強く意識するようになりました。

AUD

理論問題が中心になるので、「何故この答えになるのか？」というロジックを理解することに苦労しました。過去問題演習を繰り返す中で慣れていくしかないと思います。試験では、計算問題はほとんどないので、計算ミスや検算のために必要以上にMultiple Choiceに時間をかけ過ぎることもなく、思った通りの時間配分で進めることができました。

BEC

ビジネス実務に最も近い科目なのではないかと思います。内容自体も、そこまで難しいわけでもなかったため、学習面では一番苦労しなかったと思います。「Multiple Choiceだけでも合格可能」と言われていますが、リスクヘッジのために、Written & Communicationでも5点くらいは点が取れるように対策しました。具体的には過去問で用意されていた例題約20問について、自分の英語力で書ける範囲の回答を作成して暗記しました。Multiple Choice一本やりで臨むよりは、精神的に余裕が持てたような気がします。

REG

事前知識が全くと言って良いほどなかったため、最も苦労した科目でした。学習する範囲も広く、暗記することも多かったため、個人的には一番難しかったです。試験では、必要以上に悩まないよう、時間配分を意識して進め、Simulationで多少の余裕が持てるようにできました。Simulationの6問中で全然分からない問題が2問もあったことには驚きましたが、時間配分ができていたおかげで、解ける4問を確実に解き、分からない2問も、分からないながらも一応回答欄を埋めることができました。

■講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

基礎知識がある程度あったため（経理の実務経験、日商簿記1級、BATIC Controller Level）、必要最小限のインプットと大量の過去問での実践という学習スタイルは、私に合っていたと思います。また、スマホで講義の動画ファイルを視聴できたり、過去問題演習ができたりしたので、通勤時間をフル活用しました。教材の中で改善をお願いするとしたら、過去問の解説で、何故この回答になるのか？他の選択肢では何故間違っているのか？というところをもう少し詳しく解説して欲しかった問題がいくつかあった点です（結果的には、そこを自分で調べたり、質問メールをしたりというのも良い勉強になったのですが）。

■合格後に仕事でどのように活用できましたか？または、キャリアUPにどのように役立ちましたか？

具体的にはこれからですが、アメリカの関連企業とやり取りやM&A案件の担当者として抜擢されるよう、活かしていきたいと思っています。

■これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

USCPA合格にあたって必要だと思ったことは、以下の2つです。

- ①「何があっても最後までやり切る！」と覚悟を決めてしまうこと。覚悟さえ決めてしまえば、あとはひたすら前進あるのみです。
- ②家族のサポート。金銭的な出費についてももちろんですが、土日に家事や子供の相手がほとんどできなくなることを事前に了解してもらいました。

試験の難易度について個人差はあると思いますが、地道に進めていけば、働きながらでも必ず合格できます。

最新ピックアップ合格体験記



A・Nさん eラーニングコース 2016年3月合格 GU出願

■USCPAを目指したきっかけ

日本の公認会計士資格を有していたが、担当クライアントの海外展開の拡大に鑑み、USCPAの勉強をすることとした。3~4年前に申し込んだが、仕事で忙しかったことからあまり勉強することができなかった。グローバルに展開する物流会社に出向し、出張等により海外とのコミュニケーションが必要となったことから2014年12月より勉強を開始した。

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：1年2か月間

一週間当たりの平均学習時間：平日1時間/休日6時間

【学習方法】

2014年12月から2016年1月までの1年2ヶ月間に渡って、学習した。3ヶ月に1回の割合で繁忙期があり、勉強を持続することが難しかったが、通勤時間を利用して毎日30分程度でも勉強すること目標とした。基本的な勉強方法は、講義のテーマが終了する都度に該当する過去問題を解いていた。

FAR

FARは、基本的な問題を取りこぼさなければ、問題なく取れると考えられる。授業の内容を理解していれば、基本的には合格点に達すると思うが、IFRSの論点が幅広く出題されていたように感じた。このため、授業でやった内容はIFRSも含めて網羅的に理解することが必要と考えられる。試験の印象は、簡単だった。

AUD

AUDは、英語独特の言い回しを覚えていくことが必要と考えられる。授業や過去問題演習を通じて表現方法を学んでいくことが重要と考えられる。また、比較的細かい論点も試験で問われていたため、網羅的な学習が求められると考えられる。試験の印象は、基本的な内容が7割~8割を占めており、難しくなかった。

BEC

BECは、初回の受験ではITの知識不足及びWCの準備不足があったため、73点で落ちてしまった。このため、ITについては授業及び過去問データベースの解説をよく理解するようにした。また、WCについては、内部統制等の重要な論点については、簡潔に記述できるように準備した。WCで日本人が点数を取りに行くのは難しいと思うが、2~3行でも何か記述できる程度には準備をした方が良く考えられる。試験の印象は初回も2回目も、SIMはそれほど難しくなかった。

REG

REGは、初回受験した回は、税法しか終わっておらず、ビジネス法等まで手が回らなかった。このため、68点という点数で落ちてしまった。しかし、税法だけでもこれだけの点数が取れたということであれば、他の論点さえやれば合格できる気もした。このため、手が回らなかったビジネス法や職業倫理をしっかり理解することで合格することができた。試験の印象は、初回も2回目もとても難しく感じた。

■講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

良かった点⇒講義の内容がコンパクトにまとまっており、短期間で各科目の内容を理解することができた。また、ユーモアのある授業で、楽しく勉強できたことがとてもよかった。BECは、SIMについて全問題の解説があり、大変役に立った。

改善した方がよい点⇒BEC以外の科目についても全問題の解説があると助かると思います。

■合格後に仕事でどのように活用できましたか？または、キャリアUPにどのように役立ちましたか？

USCPAの勉強を通じて、海外とのやり取りがスムーズに実施できるようになった。出向中のため、直ちに転職等のキャリアアップを図ることは難しいが、出向期間が終わればキャリアアップを図ることができると考えている。日本の公認会計士とUSCPAのダブルライセンスは自分の仕事の範囲や可能性を広げることに寄与すると考えている。

■これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

USCPAの試験は各科目の合格率が40%~50%ということもあり、簡単な印象が持たれている。事実、私もそういう認識でいた。しかし、英語がネイティブではない日本人が受験するには簡単ではないこと、試験についても幅広い知識が求められており、簡単な試験ではなかった。このため、仕事や家庭等の様々な制約の中で、時間をどのようにして捻出していくかが重要である。

最新ピックアップ合格体験記

K・Nさん 通学コース 2016年2月 NY出願



■ USCPAを目指したきっかけ

国家公務員として10年ほど働いてきたが、より良い仕事をするには民間企業のことをもっと知らなければならないと感じていたところ、USCPAであれば、企業の基本情報となる財務・会計の勉強ができ、対外的にも財務・会計に関する知識や英語力といったスキルの証明になりうると思ったため、受験を決意した。

■ 合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：1.5年間

一週間当たりの平均学習時間：平日1.5時間/休日2時間

【学習方法】

仕事と家庭を並行しながらの勉強であったため、勉強時間の確保に最も苦労したが、少しでもよいので毎日勉強を継続することを心掛けた。平日は仕事が忙しかったため、主に通勤時間を利用して勉強した。休日も、小さな子どもがおり家庭サービスのためまとまった勉強時間を確保するのは難しく、子どもが寝た後や電車での移動時間などわずかな隙間時間を見つけては少しずつ勉強を進めた（さすがに試験直前期は家族の許しを得てまとまった勉強時間を確保したが）。

■ 講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

- ・講義の動画をUSBをPC経由でiPhoneに落とせば電車の中でも講義を聴けたし、過去問データベースも通常の通信環境の下なら外出先でも快適に視聴できた。特に過去問データベースはBISKのIDとリンクしているので、BISKで分からない問題が出てきた時はIDを検索して佐々木先生の解説を聞いて理解する、といった使い方をした。
- ・テキストはエッセンスのみを凝縮しているため、初学者がテキストだけで勉強しようとする大変かもしれない。ただ、試験を終わって振り返ってみると、テキストは試験に出るポイントを漏れなくダブリなく網羅していることが分かった。従って、試験直前期などはテキストを使えばポイントを網羅的に効率的に復習できる。
- ・通学コースは同じ勉強をする仲間がいることが分かってモチベーションの維持に役立った。一方、平日夜の講義が増えると社会人にはより有難い。

■ 合格後に仕事でどのように活用できましたか？または、キャリアUPにどのように役立ちましたか？

- ・財務諸表の概念や会計用語の定義（会計上の利益とキャッシュフローの違いなど）は、ある程度腰を据えて勉強し、かつ自分で問題を解いてみないと身を持って理解できないと思うので、USCPA受験を通じて時間をかけて体系的に勉強することができて良かった。
- ・転職は考えていませんが、USCPA合格により自分の強みを説明できる武器を1つ得たことで、今後のキャリア選択に幅が広がったと思う。

■ これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

仕事や家庭と並行しながらの勉強は想像以上に苦労するし、巷間言われているほど簡単な試験でもない。一度試験に落ちたりすると資金面や精神面で勉強を継続できるのかと不安になることもあると思うが、基本に忠実に繰り返しやれば合格できる試験なので、先生の言うことを信じて継続してやり続けることが合格への近道だと思う。

最新ピックアップ合格体験記



K・Tさん eラーニングコース 2016年2月合格 WA出願

■USCPAを目指したきっかけ

社内を見渡すと専門的なキャリアを得ている社員や自分の尊敬する社員はみな自己研鑽に励み資格を取得していた。転職を考えた場合はもちろんだが、社内でキャリアを積む上でも、若いうちから資格試験に取り組むことが有利になると考え、また将来的に海外で働きたい希望があったためUSCPAを目指すことにした。

■合格までの学習期間、実際の学習時間、具体的な学習方法を教えてください。

学習期間：1年6カ月間

一週間当たりの平均学習時間：平日0-4時間/休日0-15時間

【学習方法】

仕事が忙しい時期の平日は勉強が全く手につかなかったが、その分休日は一日中MCを解いていた。逆に平日しっかり勉強できた週は、週末に登山や旅行に行くなどメリハリをつけて学習に取り組んだ。仕事をしながらこの試験に臨もうとする場合は、適度にリフレッシュしないとなかなか最後までたないと思う。

FAR

範囲が広く、最後まで講義を見終わった時には初めの方をすっかり忘れてしまっていた。全体的に言えることだが、講義の消化を急がず、こまめに復習しながらゆっくり進めていくことが大切と思う。私は実務で触れているため大丈夫だったが、連結や退給は日本語でざっと勉強してからの方が理解しやすいと思う。

AUD

メーカーで経理をしているため、実務に照らし合わせながら、かなりスムーズに学習できた。ただ他の科目に比べ、設問はかなり読み応えのある英文が出てくるので、分からない単語・言い回しは一つ一つ覚えていく必要がある。また各レポートのひな型は暗記したため、試験でも落ち着いて解答することができた。

BEC

IT用語に疎かったため、知らないものが出てくるたびにネットで検索した。時間はかかったが、これが奏功して本番で解けた問題がいくつかあった。佐々木先生のおっしゃる通りWCは勉強せずMCを完璧にただけで合格した。WC対策する時間があればMCの精度を上げるべき、というのは本当。

REG

一通り学習すると頻出論点が分かってくる。同種資産の交換や、各組織における出資時・配当時の処理を覚えるのは大変だが、どんな出題のされ方をしても確実に答えられるよう丁寧に暗記することが大事だと思う。また実際に申告書に数字を入れて作成してみることで頭が整理された。

■講義の良かった点・改善した方がよいと思う点を教えてください。

佐々木先生の力強い英語の発音のおかげで一つ一つの用語やポイントを耳から覚えられたことが大きかった。試験にあまり出ない項目には時間をかけず、必要な箇所をテンポよく教えていただけただけで助かった。

■合格後に仕事でどのように活用できましたか？または、キャリアUPにどのように役立ちましたか？

現地法人の財務諸表や予算・実績を確認したり、内部統制のフローを見直したりするうえで、早速身につけた知識が役立っている。当初は特に転職を考えていなかったが、資格取得を機に広い視野でこれからのキャリアを考えていくことができると思う。

■これからUSCPA合格を目指す方や、勉強中の方へのアドバイスをお願いします！

勉強で身につけた知識が役立っていることはもちろんだが、それよりも、仕事で忙しい中根気強く大量の問題を解いて走り切った1年半の経験が自信に繋がり、自分の財産になった。時間もお金もかなり要したが、思い切って投資して良かったと感じている。日々の勉強は時にしんどくもなるが、試験に合格したからこそ見える景色があると信じてモチベーションを維持するのが良いと思う。